

特集

埼玉エコタウンプロジェクト

福島第一原子力発電所の事故に伴い、以前は、電力の3割を占めていた原子力発電がほとんど停止しています。

エネルギー政策は、国が責任を持って再構築すべきですが、地方としても、省エネや再生可能エネルギーの活用に徹底して取り組む必要があります。

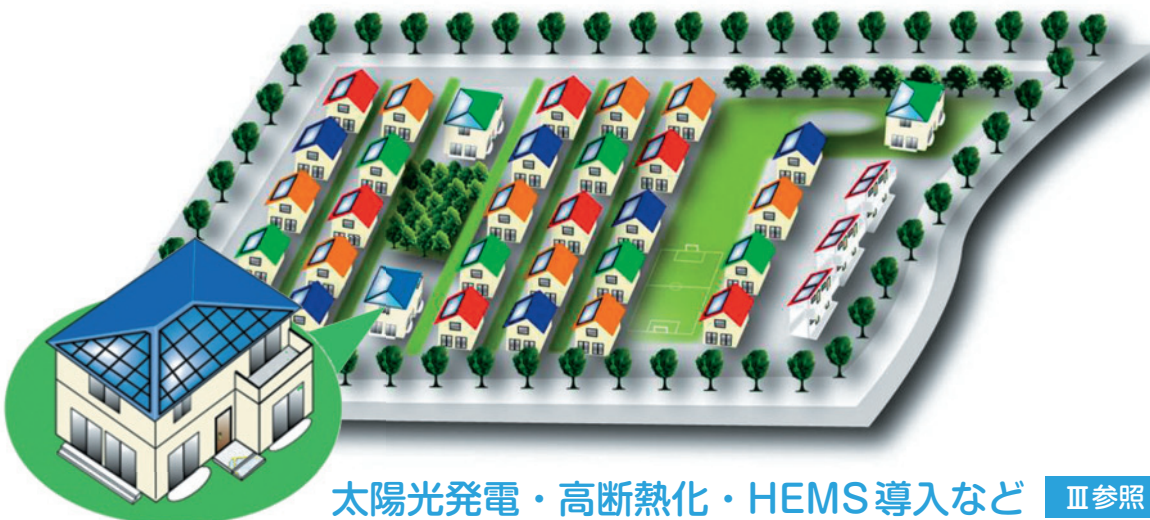
I 基本理念

- 再生可能エネルギーを中心とした創エネと徹底した省エネを市町村全体で取り組むことにより、エネルギーの地産地消を具体的に進めるモデルを全国に発信する。
- ストップ温暖化埼玉ナビゲーション2050に示された環境の視点を通して、暮らしやすく活力ある地域社会の創造を目指す。

既成市街地を中心にエネルギーの地産地消推進や地域活性化などに取り組む埼玉エコタウンプロジェクトは、「新たな街づくり」から始まる他のスマートシティプロジェクトとは異なり、全国のモデルになるものです。

最初のステップとして既存住宅を集中的にスマート化する重点実施街区を設定し、先行的に創エネ・省エネ対策を行い、エネルギーの地産地消を推進します。

重点実施街区のイメージ



太陽光発電・高断熱化・HEMS導入など

III参照

II プロジェクト実施地域

埼玉県では、埼玉エコタウンプロジェクトをモデル的に展開する市町村の公募を行い、13市町からの応募がありました。

審査の結果、坂戸市・秩父市・東松山市・本庄市・寄居町の5市町を候補地として選定し、事業の実現可能性やポテンシャルなどの調査を行いました。

平成24年4月に調査結果をふまえ、下記のとおりプロジェクト実施市町村を決定しました。

平成24年5月1日には、埼玉県知事・5市町長による「埼玉エコタウンプロジェクト推進に関する協定」を締結しました。

埼玉エコタウン



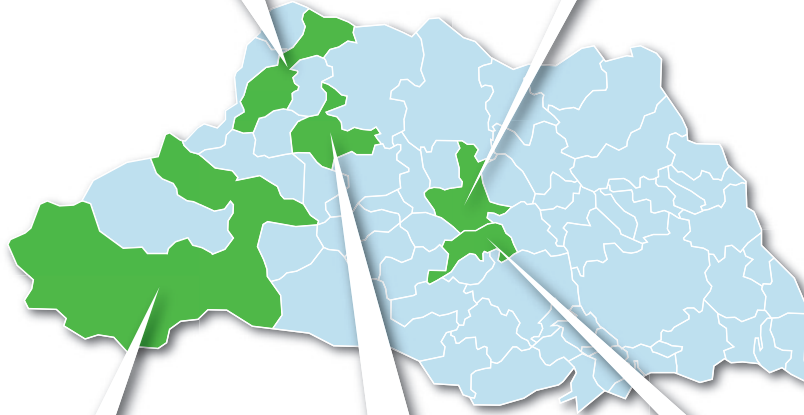
本庄市

本庄早稲田の杜など
産学官連携による
先進的な街づくり



東松山市

商店街や既成市街地の
エコ化を中心に
賑わいと活力を
生み出す取組



秩父市

「自然」との
共生を目指す
プロジェクト

- ・秩父産材の活用とバイオマ
スエネルギーへの展開



寄居町

「リサイクルと
エネルギー」の
プロジェクト

- ・メガソーラー
- ・資源循環工場をエコファクトリー化



坂戸市

「住」のエコ化を
先進的に進める
プロジェクト

- ・団地の再生（既存資産活用型）
- ・未利用市有地にスマート街区整備

埼玉エコタウン・イニシアティブプロジェクト (地域の特性を生かした先進的なプロジェクト)

Ⅲ 既存住宅のスマートハウス化

埼玉県内には約150万戸の既存一戸建て住宅があります。既存住宅のスマートハウス化を進めることは省エネ・創エネを進める上で、大きな効果が期待できます。

埼玉エコタウンプロジェクトでは、まずは、本庄市・東松山市の重点実施街区において、先行モデルとして、集中的にスマートハウス化に取り組みます。

県内の関連業界事業者と連携し実効性のあるスマートハウス化モデルの確立を目指します。

関連企業の協議会で調整

リフォーム

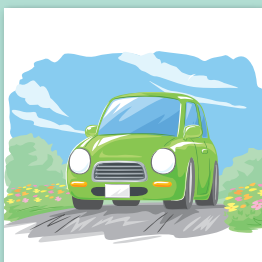
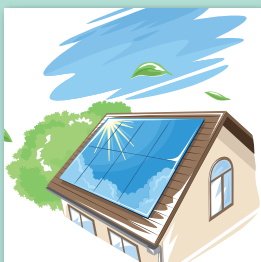
サッシメーカー

パネルメーカー

自動車メーカー

家電メーカー

など



多様な提案

太陽光発電

窓の高性能化

壁・床・天井等の断熱強化

EV・充電設備

HEMS

蓄電池

家電の省エネ化

